

防災訓練実施及び炊き出しの予行練習について

編集部

<防災訓練実施>

2020年10月27日(火)、防災訓練を実施しました。今回のポイントは、野本新隊長のもと自衛防災隊の世代交代、避難後の点呼(*1)、炊き出しの予行練習でした。



縦隊整列、避難確認の点呼



新隊長他消火器訓練

(*1): 避難誘導の現場責任者が 現場の避難完了 を避難誘導班長に報告し、避難後、部門・チームごとに縦隊整列で並び、部門長が避難確認の点呼を行った。

<炊き出しの予行練習>

工務部 長村 順介

味噌汁の具材の里芋は、先週末に北倉庫東側と駐車場西側の畑から掘り出し、前日に皮を剥いて、下準備を行いました。

当日は、豚肉と里芋を煮て、味噌を入れて約14人前調理しました。

塩むすびは、かつて総務部に所属していた田村さんから送られてきたお米を、4台の炊飯器で合計1升6合を炊き、岡野さん、新井さんの指導の下、40個作りました。



焼きそばは、ソース焼きそば15玉を2台のホットプレートで、延べ5回に分けて調理しました。焼きそばの後、牛肉(松阪?実はアメリカ牛です)とソーセージを約15人前焼きました。1台のホットプレートは、会長のプリウスPHVから電源を取り、非常時に活用できる事を確認しました。

もう1台のホットプレートは、ヤマハの発電機を始動させ、そ

こから電源を取り、こちらも非常時に活用できることを確認しました。

午前11時半頃全ての料理が完成し、会長、社長をはじめ役員の方々に召し上がって頂き、非常に美味しかったとの好評を頂きました。

尚、残った料理は、岡野さん、新井さん、工務部の面々がおこぼれに与りました。

また、残った塩むすびは、独身の方が夜食用にお持ち帰りになりました。

衛生上、塩むすびを作る時や、食材を扱う時は、全員ビニール手袋を着用していましたので、ご安心下さいませ。



編輯部



いたしました。

協力会社の方々、社内有志の方々、ご協力、ありがとうございました。

以上

赤十字で「国難」に救われようございます。

本款は不要不急の外出を促すものでも、赤十字へのご支援を奨励するものではありません。
 コロナウイルスの状況を注視のうえ、ご無理のない時期や範囲でご協力をいただきました事に存じます。



日本赤十字社東京都支部
 事務局長 中原 栄樹

新型コロナウイルスに関するお知らせ および赤十字活動資金へのご協力のお願い

平素から、赤十字事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、心から礼拝申し上げます。
 新型コロナウイルスの国内での感染1例が確認されてから、約3ヶ月が経過いたしました。昨今の含養1ヶ月及び年など大きな生活変化を受けた被災者でも、今日自然回復の見込みがある中、感染症の蔓延が心配される中、社会として、社会で「口には言えない」「ウイルスの影響で、不安や恐怖が人々を襲っている」、感染症を予防するためには、手洗いやうがい、マスク着用、人混みを避けるなどの対策が必要ですが、病気を恐れる心が「不安な気持ちを生み出し、ウイルスの対応のための困難にしてしまう」とあります。（早くに克服していくことが大切です。）

日本赤十字では、発生初期からクルーズ船や中国武漢市からの帰国者チャーター機などに医療チームを派遣し、現在も赤十字病院で感染者を受け入れ、命を守る療育機関で新型コロナウイルスの蔓延防止に全力を尽くしております。

また、感染状況の影響で献血量が減少する中、患者さんの輸血用血液を確保することの重要性の高まりを受けております。お申し出されている方々を救うため、赤十字活動資金や献金へのご協力を何卒お願い申し上げます。

なお、同封送品の下段には、外出不便でご協力いただけるクレジットカード寄付方法もご掲載しております。皆様でございますが、皆さまのご協力を心からお祈り申し上げます。

振替払込請求書受領証（郵送による電子決済可）

001604=132621
日本赤十字社東京都支部
〒200-0000
東京都港区南青山 2-176-1
941-0037
株式会社 赤十字社
代表取締役 山崎 隆夫
代表取締役 山崎 隆夫



▲図中に「I WILL DONATE」の書き込みや署名を記入し、住所や氏名、電話番号を記入し、郵便局で封入していただくことで、郵送による寄付が可能です。

【ご記入】 03-5273-6748 【お問い合わせ】 03-5272-9332



前回（2020年3月）の募金は、オーストラリアで森林火災からの復旧に役立てられました。